

# 響音



## CONTENTS

インタビュー .....	2~3
天下一光っちょる人 .....	4~5
デートDVについて .....	6
本の紹介~絵本特集~ .....	7
情報アラカルト .....	8
「響」さん紹介 .....	8

# 響

## インタビュー

HIBIKI interview

今回の響インタビューは、延岡市の教育長として学校教育をはじめ社会教育やスポーツ振興など幅広く教育という分野に取り組んでおられる澤野幸司教育長と、助産師の立場から子どもの頃からの性に関する教育の必要性を感じ、様々な機関で教育・講演活動を行っておられる水野弥生さんです。

男女共同参画について教育という視点で関わっておられるお二人にお話を伺いました。



### ●どんなお仕事をされているか教えてください。

**教育長** 僕はみんなで作り上げていく教育の世界というのを目指していて、そのために学校がすべきことと、我々教育行政がすべきことがあると思っています。

その両方を束ねて教育の方向性を決めていくのが5人の教育委員で、昨年度、幸せのために学び行動する子どもの育成を目指した、新しい「わかあゆ教育プラン」を作りました。このプランに基づいて、教育委員会事務局が、具体的な施策を実施するんですが、実際にやっていくのは学校なんです。ということは、学校が幸せでない、多分どんないい施策を打っても上手くいかない。

僕が今大事にしているのは、地域とともにある学校づくり。もちろんはげまし隊なんかもそうですよね。

具体的に学校でどういうふうの実施していくかは、学校の中で地域の方たちと話をしながら進めて欲しいという願いを持って、僕は教育委員会の仕事をしています。

地域の皆さんに共感していただいたり、ご意見があれば修正を加えながら、協働しながらみんなで作り上げていかないと、実はこれから先の教育は、行き詰まってしまう。だから、我々行政自体が、市民の幸せになるために学び行動する大人であり続けたいと思います。

**水野さん** お母さんに元気でいてほしいんですね。子どもが将来明るい未来で過ごしてもらうために、お母さんたちをサポートしていかないといけないと思っています。マタニティブルーという言葉があるんですが、妊娠中急速に女性ホルモンが上昇して、出産後急速に低下するんですよ。なので、誰しもがメンタルが落ちてしまう状況となります。だからマタニティブルーって誰でもなるんです。

それが続くのが産後うつ。今、10人に1人ぐらいはサポートが必要だと言われています。微力ながら、本来持っているお母さんの力を引き出すことができたらいなという想いで、産後ケア事業に携わらせてもらっています。

あとは性教育なんですけど。産婦人科で働いている時に、中学生高校生の若年妊娠を知り、妊娠に気づいていただけと言えなかったり、そもそも妊娠に気づいてなかったり、産むその時まで知らなかったという子どもたちもいたんです。今の性教育どうなっているのかなと思って見学に行ったんですけど、日本では文部科学省の学習指導要領の規定があって、踏み込んだ話ができないという現状があるんです。少しでも子どもたちが将来、自分の望む妊娠ができたらいなと思って、今活動しているところです。

### ●学校を元気にするための、お母さんを元気にするためのアイデアとか想いとかあったら教えてください。

**水野さん** 私が子どもを産んだ18年前と比べると、男性の意識も変わってきてはいますけど、やっぱりまだ主体はお母さんなんです。

### 澤野 幸司教育長

延岡市出身  
宮崎大学教育学部を卒業後、昭和61年宮崎県小学校教員として採用される  
小学校教諭として勤務した後、五ヶ瀬町教育委員会、宮崎県教育研修センター等の教育委員会事務局に勤務  
平成28年4月延岡市立南小学校校長、平成30年4月延岡市教育委員会学校教育課長となる  
平成30年10月、延岡市教育長に就任  
子どもたちとの対話を大切にしながら、ひとりひとりの夢が実現できる延岡を目指し、日々奮闘している



お父さんに子育てに主体的に関わってもらうためには、子どもが生まれてからでは遅いんです。中学高校で、家庭科とかで習うとは思いますが、リアルにもうちょっと時間をかけないと、難しいですね。

**教育長** そうですね。中学生のときから、社会科や家庭科で男女共同参画という学習をするわけです。

男女共同参画の意味は知識としては分かるし、家庭科でも、家庭の役割としての知識や、技能として例えば洗濯をする、調理をするそういったことも身につけることができる。

でも、そこに本当にリアリティのある学びができていないのかを問い直しているのは、実は今だと思っているんです。

テストの点数を取るための学びではなくて、社会でその学びがしっかり開かれていくことが大事で、教科書の中での学びから、もうちょっと幅広い学びになってきた時、多分子どもたちの中に、本当の意味での家庭の役割とか、共同だとかいうことの意味を、中学生は中学生なりに、高校生は高校生なりに学んでいくんだろうなと思いますね。

### ●男女共同参画に関する意識をどのようにお感じになっていらっしゃるんですか。

**水野さん** 育休制度が変わって、男性も取りなさいとなっているんですよね。でも、現状はなかなか取れていない、そういう説明を受けていないという男性の方が多くて。

これが限られた人達だけの権利ではなく、二人一緒に、子育てができるようになってくれたらいいなと思います。



若い世代では変わってきているんですけど、上司の方、特に年配の男性は、家事とか育児は女性がするものという意識がまだまだ根強いんですね。会社の中から変わっていかないと難しいのかなと思っています。

**教育長** 校長会が、子どもや地域を見て動き出しています。例えば、制服プロジェクト。

もともと制服の権限は校長にあるのですが、単独で制服を変えると保護者の負担が増えてしまうため、なかなか校長は着手できない状況でした。県内では教育委員会が主導し、多様性に対応できる標準服を決め、「これを使いなさい。」という

自治体があり、最初校長会も同様に進めてほしいと考えていました。しかし、僕はしないと言ったんです。通常はあきらめるのですが、校長会は諦めませんでした。校長会が主体となって保護者や子どもたちにアンケートを取って、結果、スカーフとかネクタイで学校の特色を出した市内標準服への移行を進めていきました。まもなく、全ての学校が標準服になると思いますよ。

こうした先生方の動きが影響してか、子どもたちも、自分たちの校則を自分たちで決めようと、今、取り組んでいます。社会の機能を維持するには一定のルールは必要です。そのルールを子どもたちが自分たちで考え、地域の人にも意見をもらいながら決めていくルールメイキングというプロジェクトを、それぞれの学校で立ち上げてやっています。

### ●最後に、これから、どういうことに取り組んでいきたいですか。

**水野さん** 性教育も結局、人権教育なんですけれど、男だからとか女だからとかいうのを取っ払って、自分らしく生きていける世の中になってほしいと思います。

私自身が家庭の中で、こうであるべきと結構言われたなど。長女だからとかね。長女なんですけど。だからうちの母親世代とか結構そういうのがまだ強いんですけど、若い人たちと話すと、男だからとか女だからとかいうのがないんですね。そういう概念というか考え方を変えるのって、上の世代では難しいと思うので、少しずつ下の世代から広がって、性教育もそうですけど、自分らしく生きられる世の中になっていけたらいいなと思います。

教育長のお話のように、子どもたちで、規律を変えていけるような、持っている力を発揮できる環境を作っていけるといいなと思いました。

**教育長** 教育委員会は、学校教育だけを所管しているわけではなく、社会教育や生涯学習も所管しているし、文化財の保護や活用、スポーツ振興も扱っています。そして、そこには多くの市民の皆さんが関わっていただいています。僕は子どもも含めて関わっている全ての方が、自分も周りも幸せになるために学び、行動した結果、延岡市民全体の幸せにつながってほしいと願っています。学習指導要領では、子どもたちに主体的・対話的で深い学びを求めています。学び行動する中では、様々な価値観がぶつかりあうこともあります。その価値観のグラデーションの中で、折り合いを見いだし、自分も相手も幸せになっていく、そういう社会を作っていくために、我々の仕事はあるだろうなと。ですから、そういう仕事をこれからも続けていきたいと思っています。



### 助産院ママズウィング代表、日本のいち心アカデミー協会代表 水野 弥生さん

延岡市出身  
防衛医科大学校高等看護学院卒業、都城洋香看護専門学校助産学科卒業  
看護師として内科病棟に勤務  
その後、自身の孤独な子育て経験から「孤立しない子育てのサポートが必要」と助産師を志し、助産師となる  
宮崎県立延岡病院にて産婦人科、小児科勤務  
2018年6月、延岡市に助産院「ママズウィング」を開業  
産後ケア、乳房ケア、育児相談、ベビーマッサージ教室、離乳食教室、ママ同士の交流会など、子育て支援に取り組んでいる  
また、病院勤務の中で、若年の予期せぬ妊娠、出産に立ち会い性教育の必要性を感じ、小中高等学校向け、保育園関係など様々な機関での性教育を行っている

# 天下一 光っちょる人

今年4月県北の企業で初めて「えるぼし認定(※)」を受けた「センコービジネスサポート株式会社」。



今回は、そのセンコービジネスサポート株式会社の管理職として女性の活躍推進に取り組んでおられる企画管理部 次長の米川晃子さんにお話を伺いました。



## センコービジネスサポート株式会社 企画管理部 次長

よね かわ あさ こ

## 米川 晃子 さん

延岡市出身。地元高校を卒業後、15年間を大阪で過ごし、その後帰郷センコービジネスサポート(株)に入社して14年目。今年4月にコールセンター部門から企画管理部へ異動  
子どもの成長とともに、自分が成長できた会社へ恩返しをしたいと、実務の現場での経験を活かし、人材の採用や育成、また従業員が働きやすい環境作りに取り組んでいる

### ◇子育てに優しい地元・会社に支えられて

延岡で生まれ、高校卒業まで延岡で過ごしました。大学進学を機に地元を離れ、大阪で過ごした15年の間に就職、結婚、出産を経験しました。32歳の時に当時2歳だった息子を連れて帰郷、実家で親兄弟のサポートを受けながら子育てをはじめました。

当時、就職先が本当になくて、とりあえず土々呂の職業訓練校に通うことにしました。その時に会社見学会に参加することになり、見学したのがセンコービジネスサポートだったんです。まだ、この会社が愛宕町のセンコービルの中にある時だったんですが、その際に話を伺った管理職の方が全員女性で、皆さん口を揃えて「女性がとっても働きやすい会社ですよ」っておっしゃるんです。その時に訓練校を卒業したらここで働こうと心に決めました。ただ、その時の募集はパートしかなくて、最初は給与事務代行部のパートとしての採用でした。3ヶ月ほど後、コールセンター部門なら正社員になれるということで、そちらに異動しました。

コールセンターの勤務はシフト制なんですけど、月の休みのうち半分は好きな日にとることができる「希望休」を利用し、家族にも子どもにもなるべく迷惑を掛けないように仕事をしてきました。

### ◇管理職を目指すきっかけ

入社当初は何のスキルもノウハウもなかった私ですが、人一倍努力はしたと思います。上司がそれを見ていて、チームリーダー的なところから始めないかと勧めてくださいました。

そこから少しずつステップアップしていった感じですね。自分の上司を見ている中で、「わたしでも頑張ればなれるかも」という風に向上心が芽生えてきました。それと、「子どものため」でもあります。頑張ったら、頑張った分だけ、子どもにもいい影響がありますし。

子どもは19歳になりますが、幼いころから「お母さんがバリバリ働いているところをいつまでも見ていたい」と言ってくれていますね。時期や立場によって残業も結構ありますが、子どもの理解が一番大きかったなあと思います。

### ◇プライベートの楽しみ

よく映画を観に行きますね。大分や宮崎まで足



屋上庭園

を延ばすことも多いです。あとは、地元の友達と一緒によく、お食事という名の飲み会に行きます。皆でわいわいするのがすごく楽しみです。ホテルや酒販さんが企画されるお酒のイベントに行くなど、お酒は好きな方です。

春先に友達のところまでタケノコ掘りをして、茹でている間にバーベキューをしたりしますが、延岡のような地方ならではの楽しみ方だなと思います。仕事、子育て、こういった楽しみ、いろんな意味で周りに恵まれていて、延岡に帰ってきて本当によかったと思います。

## ◇会社が「えるぼし認定」を取得できた理由

センコービジネスサポート(株)では、従業員の成長が会社の成長に繋がるという考えで様々な制度を整えてきました。従業員全員にeラーニングやオンラインセミナーの受講が定められています。どのような性別、役職であっても必ず研修を受けます。

資格取得制度では、テキスト代や合格時のお祝い金が出たりします。昇進・昇格試験は年に一度ですが、自己推薦で受けられる場合もあり、女性の受験者も多いです。育児短時間制度という制度もあり、正社員でも6～7時間の時短勤務が認められていて、残業も課されません。これは今年4月から、子どもが小学校3年生まで適用されるようになりました。あと、制度ではありませんが、「従業員みんなで支えあう」というのを基本にしています。「困った時は、お互い様」で、必ず誰かがフォローできるような仕事のやり方、共有、バックアップ体制を整えています。お子さんの事で何か用事ができた時には、有給休暇や半日有給制度を利用する事ができます。女性の登用や働きやすさに目を向けた様々な取り組みが認定に結び付いたと思います。



## ◇プラチナえるぼし認定を目指して

名刺に新たに「えるぼしマーク」を入れました。採用活動での大学訪問時などは「このマークがあると安心ですね」と言ってもらえます。えるぼし認定を受けたことに対して恥じないようになりたいと思いますし、もっともっと先駆的な立場にならないといけないという使命感が芽生えてきました。ここで安堵するのではなく、あくまでも通過点だと思っています。今回の認定を励みに、女性がよりいっそう活躍できる企業、地域貢献できる企業、そして人気企業となれるように、従業員の様々なライフステージに合わせた働き方を提案していこうと思っています。その結果がプラチナ認定に繋がれば嬉しいです。



屋上庭園



### ※「えるぼし認定」とは

「女性活躍推進法」に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍推進に関する状況が優良な企業を厚生労働省が認定する制度。また、えるぼし認定企業の内、より高い水準の要件を満たした企業は「プラチナえるぼし認定」を受けることができる。

## センコービジネスサポート株式会社

〒882-0071

延岡市天下町1176-13(クレアパーク延岡工業団地第一工区)

TEL:0982-23-5760 FAX:0982-23-5761



# デートDVの暴力って？

デートDVの暴力とは、**相手を自分の思いどおりに支配(コントロール)しようとする態度や行動のことをいいます。**

なぐる・けるなどの身体への暴力だけが暴力ではありません。相手の心や体を傷つける行為はすべて暴力です。



## からだへの暴力

- ・なぐる、ける、たたく
- ・物を投げつける
- ・髪を引っ張る、腕などを強くつかむ



## こころへの暴力

- ・無視する、バカにする
- ・どなる、おどす
- ・友だち関係や行動を制限する



## お金にかかわる暴力

- ・かしたお金を返さない
- ・デート費用をいつも払わせる



## 性的な暴力

- ・無理やり性的な行為をしようとする
- ・避妊に協力しない



## Q. デートDVとケンカは違うの？

- A.** デートDVは、けんかとは違います。けんかは対等な立場で意見をぶつけあうものですが、**デートDVはどちらかが一方的に自分の意見を通すために、暴力を使って相手を従わせるものです。**

## Q. デートDVはよくあること？

- A.** **デートDVの被害を経験した人は少なくありません。**デートDVは身近な問題で、誰でも巻き込まれる危険性があるのです。本人がDVであることに気づいていないこともあるため、実際にはもっと多くの被害者がいると思われます。

## Q. デートDVはなぜ起こるの？

- A.** デートDVが起こる社会背景としては、「女性は男性に従うものだ」といった固定観念や、「理由があれば暴力をふるっても仕方がない」といった暴力を容認する傾向があることが指摘されています。また、互いを独り占めして束縛する(される)ことが愛情だと思っている恋愛観など様々な原因があるといわれています。

## Q. 好きになったら相手を束縛するのは当然では？

- A.** 過度の束縛は、相手を自分の「モノ」とみなす独占欲・支配欲のあらわれであって、**恋人を大切にすることと、恋人を束縛し支配することを取り違えてはいけません。**

## 暴力は許されません！

暴力をふるわれるのは、その人のせいでしょうか？ そんなことはありません。暴力はふるうほうが悪いのです。**あなたは決して悪くありません。**

どんな理由があつたとしても暴力をふるうことは決して許されるものではありません。あなたの心と体はあなただけのものです。**いやなことは「イヤ」と言っているのです。**



暴力を受けて当然の人間はひとりもいません。一人ひとりが、かけがえのない大切な存在なのです。**かけがえのないあなたを大切にしてください。**

宮崎県「デートDVあなたの恋愛は大丈夫？」より引用

友人にも教えてあげてください！ 交際相手からの暴力は、自分で解決するのは難しい問題です。相談してください。

電話で相談

DV相談ナビ

はれれば  
# 8008

警察相談専用電話

# 9110

チャットで相談



DV相談プラス

デートDVとは



内閣府  
男女共同参画局

## 今だから絵本!

コロナ禍、子どもたちはソーシャルディスタンスとマスク生活の中で毎日を送っていました。

思うように抱っこしてもらえずマスクの中でかけられた言葉は、それが誰から誰に対してかけられたものなのか、どんな表情による言葉なのかわからないまま聞いていたこともあったでしょう。

たくさん抱っこして、たくさんおしゃべりして、これまでの時間を取り戻さなくてはなりませんね。

素敵な時間を取り戻す為に…絵本を読んであげましょう!絵本は読んでもらうことで楽しさもうれしさも何倍にもなるのです。一緒に楽しむことが大切です。

さて、絵本ですが 私たちが子どもの頃に読んでもらったロングセラーの絵本、例えば『ぐりとぐら』『わたしのワンピース』『おおきなかぶ』などの絵本をあの頃を思い出しながら読んであげたり、昔話『桃太郎』や『かにむかし(さるかに合戦)』外国の昔話の『シンデレラ』や『三びきのやぎのがらがらどん』など知っているようで、結末ってこうだったっけ?というような発見があったり、きっと楽しめると思います。

また、環境問題や戦争、災害などの社会問題を扱った絵本『ペンギンかぞくとおそろしい山』『戦争が町にやってくる』

やってくる』『ひろしまのピカ』などは、子どもたちと一緒に社会問題などを考えるきっかけを作ってくれるかもしれませんよ。

そして新しい作家さんたちの素晴らしい絵本ヨシタケシンスケさん、鈴木のリたけさん、かがくいひろしさん、ペク・ヒナさん、チョーヒカルさんなどなど…ほんとうにたくさんの新しい絵本が生まれています。どこから思いついたんだろう!とその発想に感動です!

なかでも、私が今一番お勧めしたいのが科学絵本。昆虫や動物、植物の生態、かみナリの写真、身近なものの不思議など、ありとあらゆるものにスポットが当たり、一冊の絵本で〇〇博士になれるほどです。

『サナギのひみつ』からは、カブトムシの幼虫がサナギになると体の中がドロドロに溶けて、成虫の筋肉や内臓のもとになる細胞を新しく形成されなおすこと、『ほたる』からは、ほたるは卵、幼虫、さなぎの時から光っていること、『子育てがんばる、カメムシのおかあさん』(この絵本には西階の金堂ヶ池が載っています)には子育てするととても珍しいベニツチカメムシが延岡に生息していることなど、たくさんの不思議を知ることができました。『かみなり(音羽電機工業)』には雷が飛行機に落ちた瞬間の写真が載っています。それはそれは大人が読んで面白い絵本がたくさんあります。

子どもたちとゆっくりと豊かな時間を過ごしてみませんか。



## ロングセラー絵本

子どもは読み聞かせが好きですよ。好きな絵本はくり返し読んでもらいたがります。絵を見て、聞いてイメージを広げ、おもしろさを感じることで想像し、言葉をかわしたり、歌ったり、作ったりなど表現する喜びを知ります。その過程で意欲的に言葉を獲得していきます。

『あーん あんの絵本』シリーズは50年以上前に発行され、以来ずっと読み継がれて、今も1~2歳児に大人気の絵本です。

『だるまさん』シリーズの絵本は、リズム感のあることばに子どもたちも体を揺らして楽しめます。

そして、これらの絵本は子どもが4、5歳になると今度は小さい子たちに読み聞かせをしてくれます。

絵本から広がる様々な経験は、子どもの可能性を更に引き出し、達成感や自己信頼感につながっていくのではないのでしょうか。

今、ロングセラー絵本やそれぞれの年齢に合った絵本ばかりでなく、大人にも十分に楽しめる絵本がたくさんあります。

ぜひ、手にとって読んでみませんか。



「あーん あんの絵本」シリーズ



「だるまさん」シリーズ

女性活躍PR動画

延岡の光<sup>ひと</sup>ちゅる女性

YouTubeにて好評配信中

延岡市では、各事業所や各地域でより一層女性が活躍する機運を高めるために、現在市内の職場や地域等で活躍している女性にスポットを当てたPR動画を制作し、動画投稿サイトYouTubeで公開しています。

女性活躍社会の実現につながるよう、ぜひ多くの方に視聴していただきたいと思ひます。

動画は延岡市のホームページでもご覧になれます。



第1回



第2回

「のべおか男女共同参画会議21」の新しい役員が決まりました

会 長	土 井 裕 子
副 会 長	富 高 たまえ
副 会 長	柳 田 憲 広
事務局 長	田 中 千 穂
事務局 次 長	馬 場 祐 子
会 計	牧 野 早 苗
監 事	清 島 光 雄
監 事	夏 田 勝 子
顧 問	古 本 政 子

会 長 土 井 裕 子

最近よく「カーボンニュートラル」という言葉を聞くようになりました。二酸化炭素の排出量を実質ゼロにして地球温暖化をこれ以上進めないようにしようという世界的な取り組みです。

これは大変なことで、わたしたちは、今、大きな歴史の転換点に立っています。車を電気や水素で動かようにするとか、太陽光の活用とか水素で電気を作るとか日本や世界でさまざまな取り組みの実験が始まっています。

これには国や企業だけでなく、生活者の省エネや暮らしの見直しなど、わたしたちも、具体的な取り組みを重ねていくことが大切です。暮らしの負担について学び、実際の消費行動や暮らしを変えていくことで、二酸化炭素の排出量を減らし社会を変えていけることも沢山あります。是非、わたしたちと共に学び、実践へ繋げる努力をしてみませんか。



「響」について

『響』には、「声・音が伝わる。」「声・音が跳ね返ってくる。」「広く知れ渡る。」「影響を与える。」「心に感じさせる。」等の意がある。この『響』が、あなたの心に響き、影響を与え、あなたからの情報が「打てば響く」ように跳ね返ってきてほしい。「あなたと響き合いたい」との気持ちでいっぱいです。



「響」

吉田 理央奈 さん

延岡中学校 1年

ほかにも 黒岩中学校1年 甲斐 斗真 さん、東海中学校1年 田口 麟大朗 さん、東海中学校2年 田口 瑠璃花 さん、黒岩中学校2年 甲斐 理妃斗 さん、東海中学校2年 加行 瑠香 さん、黒岩中学校3年 佐藤 里玖 さん、黒岩中学校3年 畠中 勤吾 さん にご協力いただきました。小野静先生の書道教室の皆さんです。



「海まで競走」

市田 ひろし さん

延岡市在住

普段から目に留まる景色や物を自分の思い出や大切な記憶として写真や動画に収めることが多く、いつしか習慣になっています。見返したときの時代や状況によって、その何気ない写真1枚が様々な情景として変化していくことに魅力を感じています。今後も自分の心やときに人の心を動かすような写真を収めていきたいです。そしていつか世界中を歩き回りながらたくさんの景色や風景の写真を撮ることが夢です。



◆ 延岡市男女共同参画センター

配偶者等からの暴力と男女共同参画に関する相談

☎ 0982-22-7056

◆ 延岡市消費生活センター

借金・消費生活に関する相談

☎ 0982-26-0111

消費生活に関する無料弁護士相談【要予約】

延岡市男女共同参画推進室

延岡市桜小路 360-2 (川中コミセン 2F)  
月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始は休み)



悩んでいるのはあなたひとりではありません。勇気を出して一歩踏み出してみませんか？相談は無料。秘密は守ります。お気軽にご相談ください。



編集後記



私は今回初めて「響」の編集に携わりました。教育長、水野さんのインタビューを通して教育や学び、多様性についてたくさん話していただき、私なりに共感することや気づくことがたくさんありました。読者の皆さまにも、この熱い思いが届きますように。取材にご協力してくださった皆さま、感謝いたします。(I)

編集委員／ひろみ H、ともみ I、ゆみ K、ゆみこ Y、たかき N